

## D-16 主婦の生活形態について — 集団住宅の場合 —

和歌山大教育 関 志比子

1. 生活を合理化する施設・設備の普及が主婦の生活に及ぼしている影響は生活革新の動向を尖鋭的にあらわす団地的な集団住宅居住者の生活の中に鮮明な現象として出てくるのが報告されているが、生活様式・住居形式の画一的、平均的、かつ機能的な住宅に生活する主婦の生活形態について、とりわけ生活時間帯の点から特異性を把握したいと考え本研究を試みた。

2. 調査対象は鹿児島市公営アパート（中層鉄筋構造・2DK型式住宅）居住者216世帯より120世帯を無作為抽出し、本年1月～2月にわたってアンケートによる調査を実施した。

3. 集団住宅における主婦の生活はいろいろな要素によって影響があるが家事労働の内容や時間には一般家屋居住者との間には特に差異はみられず、家族構成や主婦の年代等による差異が顕著であった。また、時間帯からみると家事の併行作業が多く、作業能率が設備との関わりを有する家事労働については作業に要する量的な面で住居設備の機械性をみることができる。